

令和6年度 2学年美術科シラバス

学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさと調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

学習内容

月	題材名	学習内容	評価の観点（評価規準）
4	「新しい表現へ」 ◇オリエンテーション	1 学年までの学びを振り返り、これからの学びのつながりや考えの発展を学ぶ。	【学びに向かう力】これまでの学習内容を振り返り、これからの授業内容に興味・関心をもつ。 美術の表現手段の多様性を知り、美術の見方、考え方を深める
4 7	「視点の冒険」 ◇新鮮な見方で風景を描く 「きらめきゆらめき」 ◇光に気持ちを重ねて描く	普段何気なく通っている郷土の道や風景に着目し、風景に降り注ぐ光に自分の気持ちを重ね、改めて新鮮な見方でとらえ生まれてくる感情と郷土愛を主題に自分の内面を探る。そして他者の考えを知り自分の考えを深める。◆絵画	【学びに向かう力】光の効果や美しさなどをとらえて表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。 【思考判断表現】情景の中の光のイメージをもとに、光や影、色彩などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞する。 【知識技能】生活の中の光の変化に着目し、美しさや色彩の変化をとらえ、絵具などや透視図法の特徴を生かして表すことができる。
6 7	「ひと目で伝えるための工夫」 ◇単純化、強調で情報を整理する。 「その一枚が人を動かす」 ◇イメージの力で伝える 「デザインで人生を豊かに」 ◇美術の力で課題を解決する	SDGsの世界で抱えている問題を解決するために掲げられている取り組みを学び、自分たちにできることを班で話し合い、課題解決に向けて班で協力してデザインし相手に伝わるように工夫して伝える。◆デザイン・工芸	【学びに向かう力】具体物や行為を表す形の特徴などをとらえ、絵具などの特性を生かし、見通しを持って表す。 【思考判断表現】伝えたい内容やイメージ、伝える場面などをもとに、形や色彩などによる伝達の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【知識技能】材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追及して創造的に表している。
12 2	「空想は現実を超えて」 ◇創造の世界を表す 「心のイメージを形に」 ◇印象や感情を表す 「水と筆を操る」 ◇単色で多彩に表す	自分の心に抱く感情から印象をとらえ、心の姿を単色で多彩に表現し、自分の内面を探る。◆立体	【学びに向かう力】感情やイメージなどを形や色彩表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む 【思考判断表現】感情やイメージをもとに、形や色彩、構成などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【知識技能】形や色彩、その組み合わせに着目しイメージをとらえ、絵具などの材料を生かして表す。
3	「自分らしい表現へ」 ◇学びのまとめ	これまでの学習を振り返り、学んだことを押さえて、次の学習につなげる。◆鑑賞	【学びに向かう力】これまでの学びから美術の目的や意味を考え、自己の表現につなげる。

3 評価の観点と方法

- ・知識技能…作品、ワークシート、アイディアスケッチ、提出物
- ・思考判断表現…作品、ワークシート、アイディアスケッチ、提出物
- ・主体的に取り組む態度…授業態度、作品、ワークシート、アイディアスケッチ、提出物